



2024年2月13日

各位

会社名 株式会社いなげや
代表者名 代表取締役社長 本杉 吉員
コード番号 8182 東証プライム
問合せ先 専務取締役 羽村 一重
(TEL 042-537-5111)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、第3四半期の業績動向を踏まえ、2023年5月9日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正内容 (2024年3月期 通期連結業績予想、2023年4月1日から2024年3月31日)
(百万円未満切捨て)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	252,600	1,500	1,540	180	3円88銭
今回業績予想(B)	259,000	2,400	2,400	700	15円10銭
増減額 (B)-(A)	6,400	900	860	520	
増減率 (%)	2.5%	60.0%	55.8%	288.9%	
(ご参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	248,546	1,899	2,184	△2,105	△45円43銭

2. 修正理由

当社グループは、「まずはお客様ありき」の精神のもと、地域のお役立ち業として安全・安心な食の提供と豊かな地域社会の実現に寄与すべく事業活動に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間におきましては、様々な食品や生活関連商品の値上げなどによってお客様の節約志向が一層高まる中、営業収益では自社カード顧客へのポイント施策の強化やコモディティ主力商品の曜日セールでのお買い得な商品提供、生鮮食品・惣菜の当社ならではの「おいしさ」にこだわった商品の販売に注力してまいりました。

これらにより第3四半期累計期間では既存店客数を前年同四半期比102.3%、同客単価も102.4%を確保し、同既存店売上は104.7%と伸長いたしました。また、本年度11月開店の新店(スクラップ&リプレイス)練馬中村南店の売上も順調に推移しております。

販管費についても販促の電子化、物流便の見直し、フルセルフ・セミセルフレジの導入加速によるお客様のレジ待ちストレス解消とレジ人時の効率化など、サービスレベルを維持しつつ値上がりする各種費用の増大抑制にも努めております。

当社は当第3四半期においてイオン株式会社の子会社となり、イオングループの一員となりました。現在、イオングループの資産であるプライベートブランド商品「トップバリュ」を順次導入し競合との差別化を図るとともに、同じくイオングループの決済手段である「AEON Pay」を導入しお客様の利便性向上にも取り組んでおります。

以上のような取り組みの結果、当第3四半期累計期間における業績は当初予想を上回る推移をしております。また、第4四半期においても積極的に改装投資、省エネ投資を予定しておりますが堅調な売上の確保が見込まれること、販管費も想定範囲内でのコントロールが見込まれることから2023年5月9日に公表した業績予想を修正致します。

以上